

山元こぐまサロンを活用した障害者の学びの場 共創プロジェクト3

文部科学省 学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業



障害者が地域のなかで、主体的に、いつでも学べる環境を作る。

学びのプログラム作りを通じた地域づくりを、さらに柔軟に、多方面で展開し、障害者の生涯学習をサポートする地域資源（人・場所・環境等）を増やしていく。

本事業終了後の目指す方向性の展望

■宮城県山元町で障害者が参加できる「生涯学習」を展開しながら、障害者のアドボカシーとエンパワメントを進め、更に属性の異なる全ての地域住民も「学び続ける」又は「学びなおす」ことのできる機会や場をつくり、不安定な社会情勢下であるからこそ、誰もが支え合って心豊かに生きていくことを目指した地域づくりを目指す。

■被災地や過疎地で暮らす障害者や生きづらさを抱えている人たちが、誰かとつながり支え合えるよう、「全ての人のための生涯学習の環境整備」と「共生社会づくり」を進めるためのモデルをつくる。

■そのために、行政との連携をさらに強めていくこと、また学びのプログラムづくりを通じて、障害者の生涯学習、ひいては彼らの地域生活における協力者を、町内に増やしていくことを目指したい。

実施プログラム

①ユニバーサル学習

会場：ひだまりホール 3階 会議室5

【第1回】保健師さんに聞いてみよう！
からだのこと、健康のこと（仮）

日時2023年7月6日 10：00～11：30
場所：ひだまりホール 会議室5
講師：山元町保健福祉課・保健師

【第2回】みやぎの復興について考えよう（仮）

日時：2023年8月31日（木）10：00～11：30
会場：ひだまりホール 3階 会議室5
講師：武者光明さん（宮城県企画部長）

②みんなで作る・アートのじかん

日程：令和5年6月～11月
（ひろばP）

（山元支援学校）6/20、8/8

場所：ひろばボラリス/宮城県山元支援学校（プログラムに準ずる）

講師：今野裕結さん・しょうじこずえさん

協力：宮城県山元支援学校

内容：・アートワークショップ：自由に作品作りに取り組む時間
・コンセプトアート：支援学校生徒と作品を共同制作等

成果報告会

「みんなのアート展」

日程：令和5年12月6日～9日
（5日間）

場所：ひだまりホール

●それぞれのプログラムの1年間の集大成として、成果発表会を兼ねた展示・発表を企画する。プログラム毎の発表の他、障害のある人もない人も共に楽しむことのできるアートワークショップや作品展示、ライブアートを企画する。

●「障害者週間」（12月3日～9日）に合わせて町の施設を利用して開催することで、地域に向けて、障害の有無にかかわらず「全ての人のための生涯学習の環境整備」と、障害のある人とない人が支え合う「共生社会づくり」の発信もしていきたい。

③そうだ！たいそうに行こう

日程：令和5年6月～12月のなかで、毎月1～2回程度

※実施日は毎月講師と相談の上決定する

場所：ひだまりホール/おもだか館など（参加プログラムに準ずる）

協力：ホップステップ

内容：当事者の体を動かすことへのニーズに対応し、町が開催している生涯学習プログラムに参加して、地域住民と一緒に体操を楽しむ。

④うたカフェ

日程：令和5年6月～11月のなかで、毎月1回程度

6/29、7/27、8/24、10/26、11/30

場所：ひろばボラリス

講師：どらごえサークル

内容：うたを歌う。「みんなのアート展」でその成果を発表する。

⑤宿泊&自然体験@宮城県蔵王自然の家

日程：令和5年9月28日～29日

場所：宮城県蔵王自然の家

協力：宮城県生涯学習課（宮城県事業として実践する）
東北福祉大学ボランティア

内容：宿泊経験が少ない当事者が、蔵王の環境を生かした自然体験・宿泊体験を行うことで、どのような価値や変化を生むのかを検証する。